



校内文化祭を開催！

21日(金)に、平成28年度校内文化祭を開催しました。午前中は、学年発表と1, 2年の合唱コンクールが、午後には、3年の合唱コンクールと有志発表、合唱部、吹奏楽部の演奏が行われました。一日中、生徒たちの生き生きとした活動が見られ、感動的で実り多い文化祭となりました。

また、保護者の皆様には多数ご来校いただき、生徒たちの発表を温かく見守っていただきましたことに、心より感謝申し上げます。



《二中生の活躍》

- 県下小中学校音楽祭
合奏の部 金賞(優良賞)
- 合奏コンクール全国大会グランドコンテスト
銅賞
- こども音楽コンクール東北大会
合唱の部 優秀賞・審査員特別賞
- 県中地区中学生新人サッカー大会
3位
- 県中地区中学校新人バドミントン大会
男子シングルス 2位 鈴木一徳
男子ダブルス 3位 板谷 尊・藤田京平
女子団体 2位
女子シングルス 2位 上田彩乃
女子ダブルス 2位 菅原藍・角田陽真里
- 三県交流ソフトテニス研修大会
男子団体(2日目) 3位
女子団体(1日目) 2位
女子団体(2日目) 優勝

- 金賞 1年1組、1年5組
2年1組、2年4組、2年5組
3年1組(最優秀賞)
3年2組(優秀賞)、3年4組
3年6組
- 指揮者賞 佐藤里愛(101) 高橋英将(201)
江幡彦成(301) 青砥壮吾(302)
小玉凧紗(306)
- 伴奏者賞 石橋瑠々子(102) 鮎澤和佳(105)
原 一心(108) 柏原梨花(202)
小野ひなた(204) 村田果蓮(205)
奈良坂憲芳(301) 北野寿美怜(302)

- ・最優秀賞 水野 康平(3の1)
- ・パンフレット賞 西間木華恋(3の2)

今年の学年発表では、各学年とも発表を工夫し、全員がステージに立つことができました。

特に3学年の発表では、全員による『栄光の架け橋』の合唱が体育館いっぱいに響きわたり、感動に包まれました。

また合唱コンクールでは、各学年とも練習の成果を出し切り、完成度の高いすばらしい演奏をすることができました。審査をするのにも、演奏に甲乙をつけ難く、頭を悩ませました。



任命式を実施！

13日(木)の6校時に任命式を行いました。特に生徒会役員、専門部や学級役員の皆さんには、リーダーとして力を思う存分発揮して、よりよい二中の創造に努めてほしいと思います。

任命式に引き続き、各種の表彰伝達を行いました。2学期に入ってから大会やコンクールの表彰でしたが、文武両面にわたる生徒たちの活躍がすばらしく、たくさんの数の表彰伝達となりました。



吹奏楽部が全国大会出場！

13日(木)にいわき市アリオスで行われた「県下小中学校音楽祭(合奏の部)」において、本校の吹奏楽部が金賞(優良賞)を受賞し、全国大会出場となりました。

日本学校合奏コンクール全国大会グランドコンテストは、23日(日)に郡山市民文化センターで開催され、結果は銅賞を受賞しました。全国の舞台に立てたことはすばらしい経験になりました。文化祭の練習と重なり慌ただしい中での大会出場でしたが、今回の快挙に心から拍手を送りたいと思います。

また、これまで応援をいただきました皆様に、心より感謝申し上げます。



中学校見学会を実施！

小中一貫教育の連携事業として、小学6年生の中学校見学会を実施しています。

- 24日(月)に須賀川二小
- 25日(火)に阿武隈小
- 26日(水)に柏城小

1学年の授業を参観した後、部活動の様子を見学しています。



《お知らせ》

11月12日(土)は登校日になります。(学校公開日)

- 公開授業(1, 2校時)
- 教育講演会 10:45~
講師 あべ 美佳氏(シナリオライター)
- 模擬店 12:30~
※14日(月)は繰り替え休業日となります。

合唱東北大会 優秀賞！

15日(土)に郡山市民文化センターで行われた「こども音楽コンクール東北大会(合唱の部)」において、優秀賞・審査員特別賞を受賞しました。応援に感謝します。



11月4日(金)に須賀川市文化センターで開催されるソフィア・ゾリステン「名曲の花束」に、本校の合唱部が出演します。開演は18:00になっています。



こころの窓

風呂に入ったときや布団に入ったときなど、一日を振り返ることがよくあります。今日はどんな一日だったのか、どんな仕事(勉強)をしたのか、自分自身を褒めてあげたいような一日もあれば、悔いの残る反省ばかりの一日もあります。心がけとしては、充実した一日を目標にしたいものです。

機関誌「PHP」から的一篇を紹介いたします。

力をつくして

どんな仕事でも、一生懸命、根かぎりに努力したときには、何となく自分で自分をいたわりたいような気持ちが起こってくる。自分で自分の頭をなでたいような気持ちになる。今日一日、本当によく働いた、よくつとめた、そう思うときには、疲れていながらも食事がおいしくいただけるし、気分もやわらぐ。ホッとしたような、思い返しても何となく満足したような、そして最後には「人事を尽くして天命を待つ」というような、心の安らぎすらおぼえるものである。

力及ばずという面は多々あるにしても、及ばずながらも力をつくしたということは、お互いにやはり慰めであり喜びであり、そしていたわりでもあろう。

この気持ちは何ものにもかえられない。金銭にもかえられない。金銭にかえられると思う人は、本当の仕事の喜びというもののがわからない人である。仕事の喜びを味わえない人である。喜びを味わえない人は不幸と言えよう。

事の成否も大事だけれど、その成否を越えてなお大事なことは、力をつくすという自らの心の内にあるのである。